

# 山河に学ぶ

飯田市立千代小学校

Tel : 0265-59-2102 Fax : 0265-59-2374 E-mail:chiyosc@ed.iidanet.jp

## 2学期スタート

8月23日(火)2学期の始業式が行われました。今年度も「ふるさと子ども夢学校」やPTA作業を中止せざるを得ないほど、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が止まらない状況にありますが、子どもたちはそれぞれにしっかりと目標をもち、2学期をスタートさせました。各教室や廊下には、夏休み中に作った工作や一研究などが展示されており、充実した夏休みであったことが伺えます。

始業式の校長講話では、『言葉の力』について話をしました。(以下抜粋)

さて、先ほど2年生と4年生が2学期の目標を発表してくれましたね。聞いていた皆さんも、「2学期はこんなことができるようになりたい」とか、「こんな自分になりたい」と思いながら聞いていたと思います。そして、この後、教室に戻って2学期の目標を書いたり、それを教室に貼ったりする学級もあるかと思えます。どうして目標を書いたり壁に貼ったりするのでしょうか。考えたことはありますか？それは『言葉には力がある』からなのです。今日は、「言葉には力がある」というお話をします。



だれでも「なりたい自分」というものがあるはずですが、それをしっかりと言葉にしたものが『目標』と言われるのですが、その時大事なのが、「こうなりたい」ではなく「こうなる」と言い切ることです。例えば「やさしい人になりたい」ではなく「やさしい人になる」

「マラソン大会で優勝したい」ではなく「マラソン大会で優勝する」

「漢字テストで100点をとりたい」ではなく「漢字テストで100点を取る」などです。

「わたしなんて」「どうせ無理」「きっと失敗する」という自分を否定する言葉を言ったり思ったりしていると、その通りの自分になってしまいます。校長先生もそんな経験がありました。(省略)だから後ろ向きの言葉よりも「わたしはできる」「きっと成功する」と前向きの言葉を言い続けることが大事です。そうすると、たとえうまくいかなくても、「また次がんばればいい」「次こそはきっと」とか「がんばったから満足」「楽しかった」と、明るく前向きな考え方の自分になれるのです。

### ことば ちから 言葉には力がある

- ・なりたい自分を ことばにする
- ・自分を否定するような言葉をつかわない
- ・聞いたときに気持ちが明るくなるような言葉をつかう ほめられたら「ありがとう」
- ・毎日その言葉を見たり、くりかえし読んだりする

ほめられたときも、恥ずかしいから「そんなことはないです」とか「いや、べつにたいしたことじゃないです」とか謙遜、遠慮した言い方をしますが、素直に「ありがとう」とか「ありがとうございます」を言いましょう。自分のいいところは自分が認めてあげましょう。

今日は「言葉には力がある」というお話をしました。自分の書いた目標を毎日見て、読み返して、なりたい自分になりましょう。

# 教室や廊下の展示より

